

概要

OSNETサポータ2は、現場または遠隔地からOSNETネットワークに接続した装置の設定や、データの表示・回収を行う為のソフトウェアです。

OSNETネットワーク

OSNET ネットワークは、データの記録、警報の監視・発令を行います。

OSNET サポータ 2 の動作環境

コンピュータ本体
Windows Vista、Windows 7、Windows 2008 Server R1、Windows 2008 Server R2、Windows 2012 Server R2、Windows 8、Windows 8.1、Windows 10 が正常に動作するコンピュータ。
※Windows 8 及び Windows 8.1 ではデスクトップ画面で動作するデスクトップアプリとして使用できます。 ※Windows RT には対応していません。

ソフト
.NET Framework 2.0。ヘルプファイルの表示には電子文書閲覧ソフト (アドビシステムズ社 Adobe Acrobat Reader) が必要です。

ハードディスク
500MB 以上の空き容量。

メモリ
最小メモリ容量 : 1.5GB 以上。推奨メモリ容量 : 2GB 以上。

ディスプレイ
1024×768 ドット以上の解像度。DPI 設定が 125% の場合は 1280×1024 ドット以上。

モデム (モデム接続をする場合)
公衆回線等を利用して通信する場合、モデムが必要になります。(推奨モデム : I-O DATA 製「DFML-560ER」) ※すべてのモデムでの動作は保障していません。

USB シリアル変換ケーブル
パソコン本体にシリアルポートが内蔵されていない場合、モデムまたは NetGW-1 との接続には USB シリアル変換ケーブルをご使用ください。
(推奨ケーブル : iBUFFALO 製「BSUSRC06」) ※ご使用のパソコンと USB シリアル変換ケーブルの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

メール環境 (メール接続をする場合)
送信プロトコル SMTP、受信プロトコル POP3/IMAP4、HTTP に対応したメール環境が必要。 ※SSL 認証にも対応。
※HTTP 通信のご利用には HTTP 通信専用アカウント (利用料無料) の申込が必要ですので、ご希望の場合は、弊社営業までお問合せください。

主な機能

OSNET サポータ 2 には主に次の機能があります。

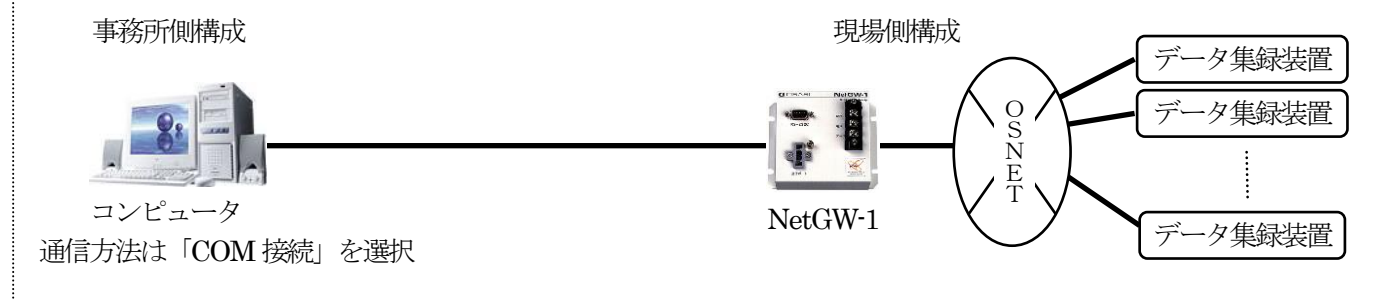
- ① OSNET ネットワークの構成を確認(ツリー表示)する機能。
- ② OSNET ネットワークの障害を検出する機能(アドレスの重複、ループ接続)。
- ③ OSNET 機器の設定やバージョンアップを行う機能。
- ④ OSNET 機器の記録データ確認、データ回収機能。
- ⑤ データ集録装置や警報出力装置の警報設定・警報状態の確認機能。

OSNET RS232C 変換器「NetGW-1」の代わりに、OSNET パケット通信機「NetMAIL-1/NetMAIL-1K/NetMAIL-2/NetMAIL-2K/NetMAIL-N」、OSNET イーサネット通信機「NetICE-L1」、ネットワーク無線親機「NetMI-P/NetMI-P2/NetMI-P3」を使用することもできます。

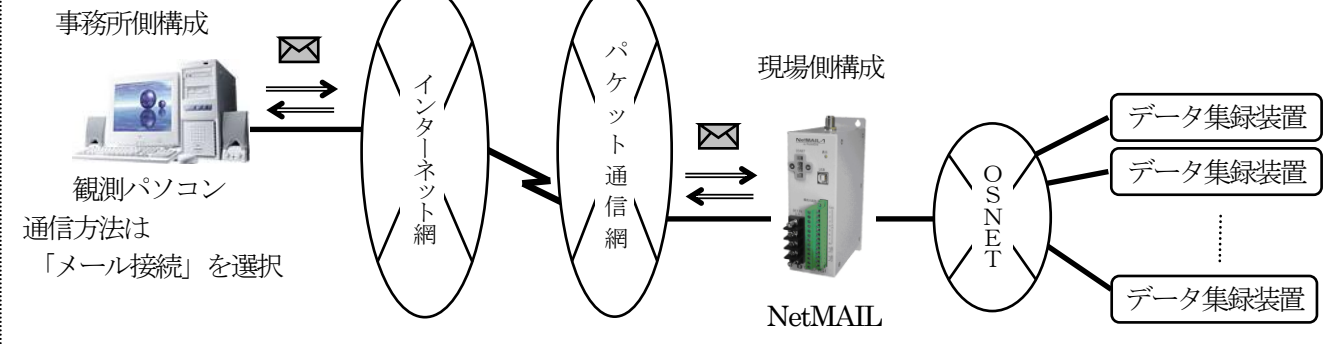
ただし、無線機経由ではバージョンアップ及びデータ回収機能は使用できません。また、無線機経由では通信時間が長くなります。

システム構成例

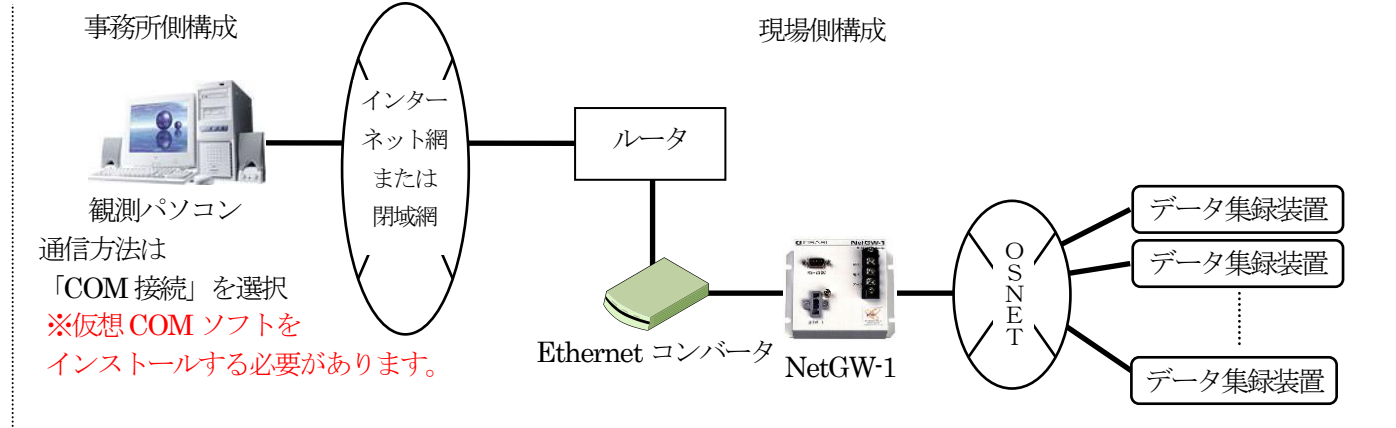
●RS232C クロスケーブルで直接接続する



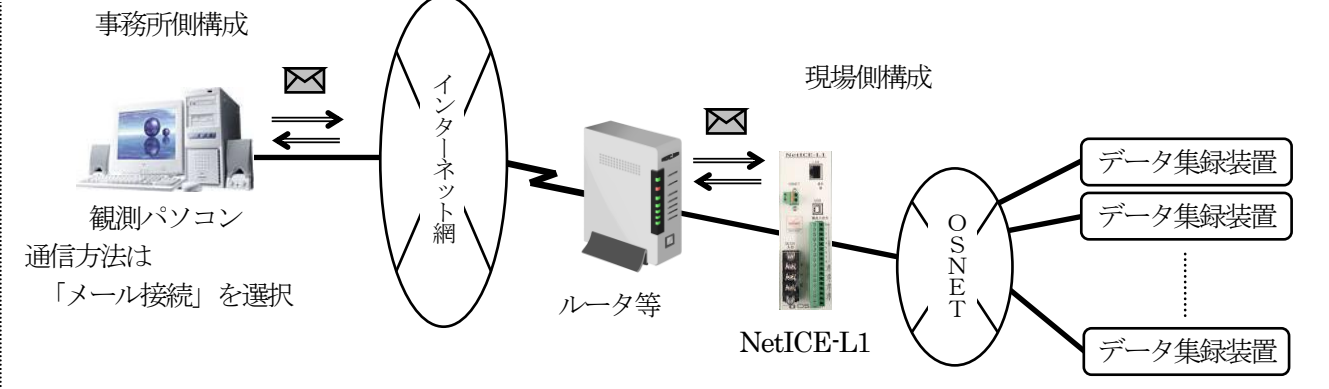
●パケット通信機へメール通信で接続する



●インターネット経由または閉域網で接続する

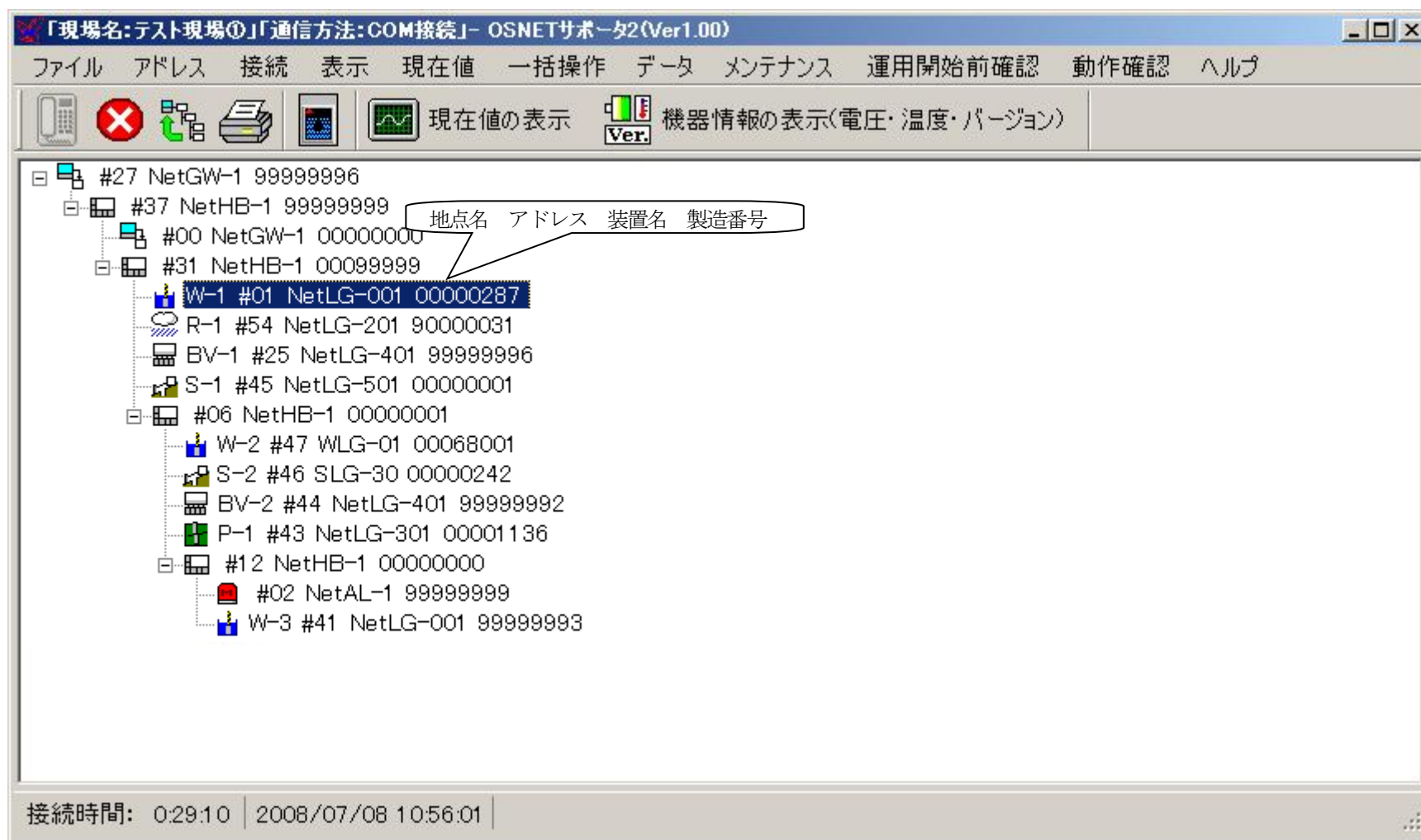


●イーサネット通信機へメール通信で接続する



メイン画面

OSNET ネットワークに接続している装置の構成をツリー表示します



「接続」 OSNET ネットワークへ接続します。



「切断」 OSNET ネットワークへの接続を切断します。



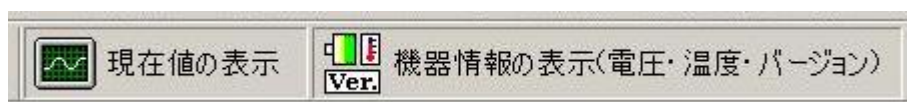
「更新」 OSNET ネットワークの状態を再読み込みします。



「印刷」 表示しているツリーの印刷を行います。

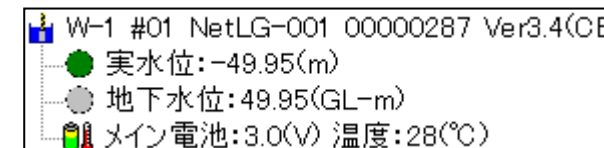


「データ回収」 データ集録装置の記録データ (Logger.dat) の一括回収を行います。



「現在値の表示」
ツリーに現在値が表示されます。ツリーを更新すると、現在値も再読み込みします。

「機器情報の表示(電圧・温度・バージョン)」
ツリーに「電源電圧」「集録装置内部温度」「バージョン」が表示されます。

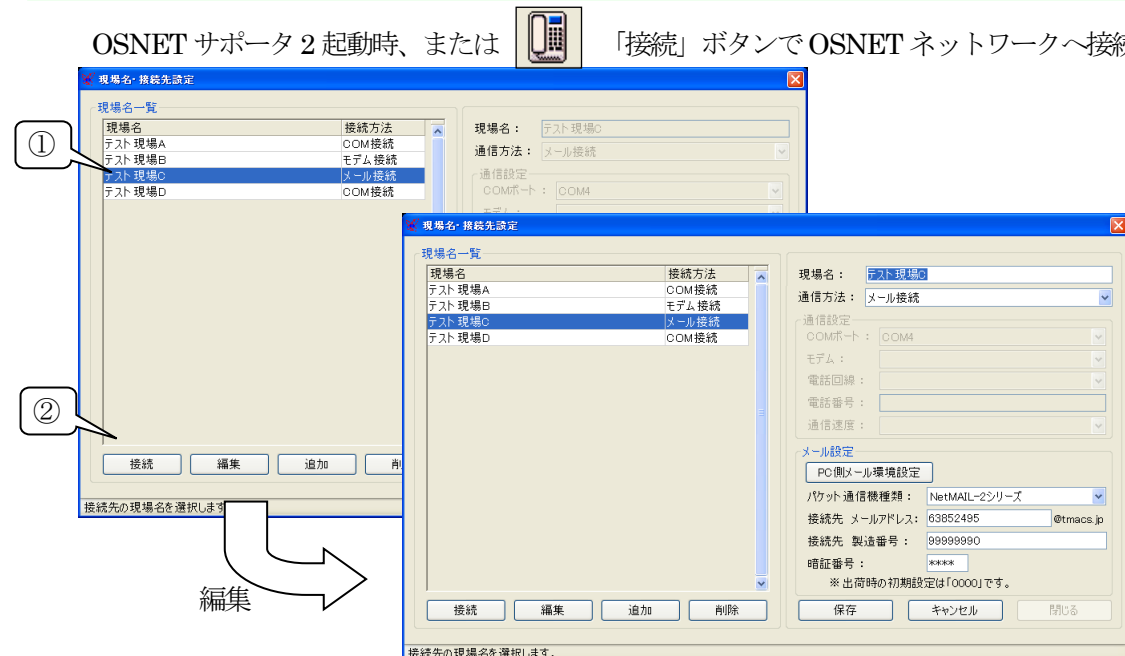


例: NetLG-001 (水位データ集録装置)

※現在値の種類は集録装置によりそれぞれ異なります。
値についての詳細は、各データ集録装置の取扱説明書を参照して下さい。

OSNET ネットワークへの接続

OSNET サポータ 2 起動時、または「接続」ボタンで OSNET ネットワークへ接続を開始します。



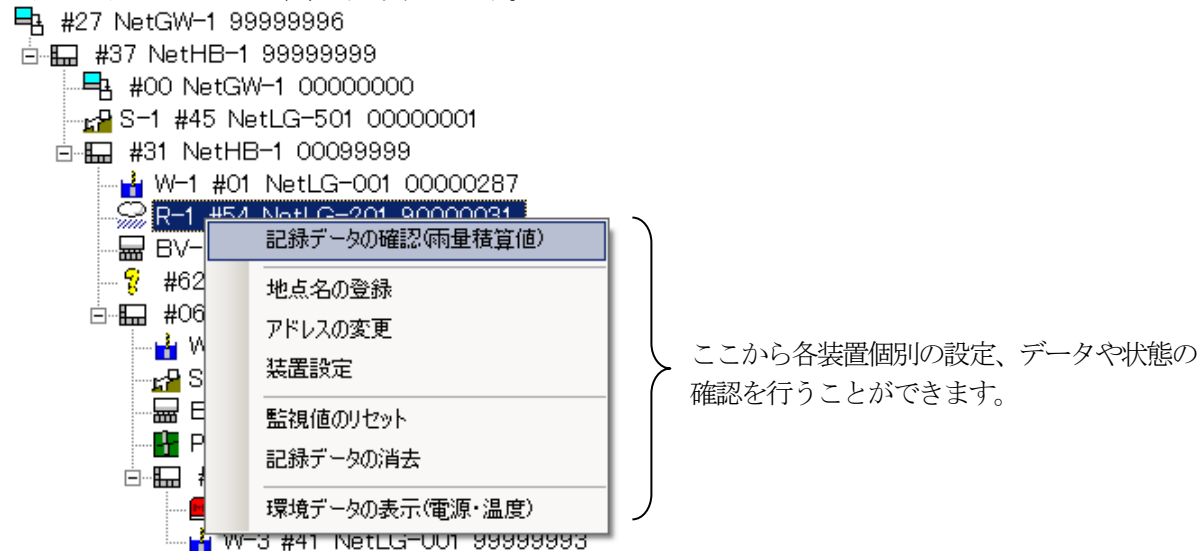
①接続先の指定で接続先を選択します。
新規に接続先を登録する場合は「追加」ボタンを、既に登録している接続先の設定を変更する場合は「編集」ボタンを押して、接続先を編集します。

接続方法	説明
COM接続	RS232C クロスケーブルを使用して接続します。 また、仮想 COM ソフト+Ethernet コンバータを用いてインターネット経由で接続する場合も COM 接続を選びます。
モデム接続	モデムを使用して接続します。(一般公衆回線、携帯電話回線、衛星携帯)
メール接続	メール通信を使用して現場へ接続します。

②「接続」ボタンで OSNET への接続を開始します。

各装置の設定、データの確認

ツリーの装置を右クリックすると、各装置個別のポップアップメニューが表示されます。
表示されるポップアップメニューは装置毎に異なります。



記録データ確認

表示期間を指定して「読み込み」ボタンを押すと、集録装置に記録されているデータを取得し、グラフで値を確認する事ができます。

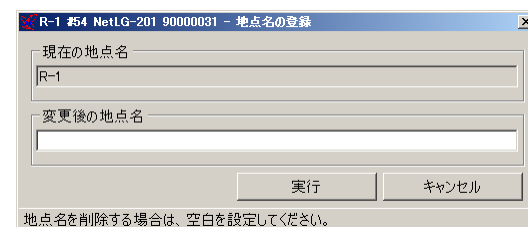
※表示される値・グラフは各集録装置により異なります。
詳細は装置の取扱説明書を参照して下さい。



例：NetLG-201（雨量データ集録装置）記録データ確認

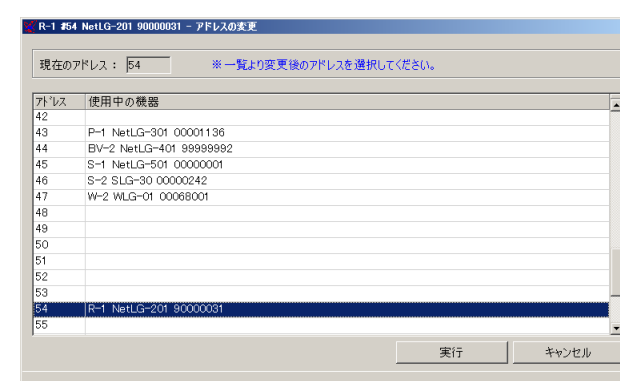
地点名の變更

ツリー上の装置個別に地点名称を付けることができます。
※ここで設定する名称は、本ソフト上でのみ有効です。
装置に地点名を設定するわけではありません。



アドレスの変更

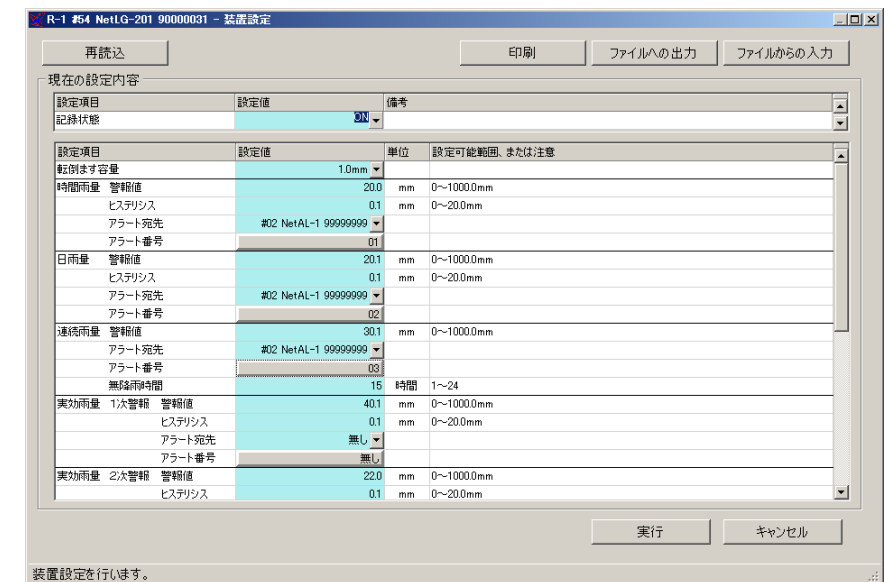
OSNET ネットワーク内の装置のアドレスを一覧表示します。開いているアドレスを選択し「実行」ボタンを押すことで、アドレスを変更することができます。



装置の設定

記録状態や警報値等、装置の設定ができます。

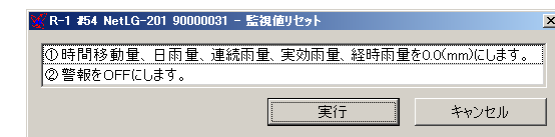
※設定内容は各装置ごとに異なります。
詳細は装置の取扱説明書を参照して下さい。



例：NetLG-201（雨量データ集録装置）装置設定画面

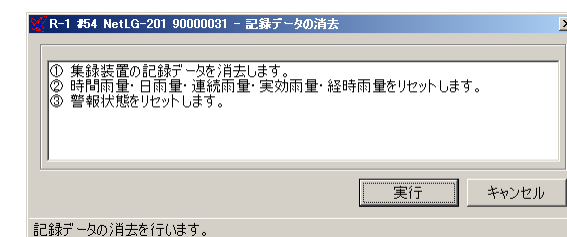
監視値のリセット

データ集録装置の監視値の値をリセットし、警報の状態もOFFにします。リセットする項目はデータ集録装置によって異なります。



記録データの消去

集録装置の記録データを消去します。

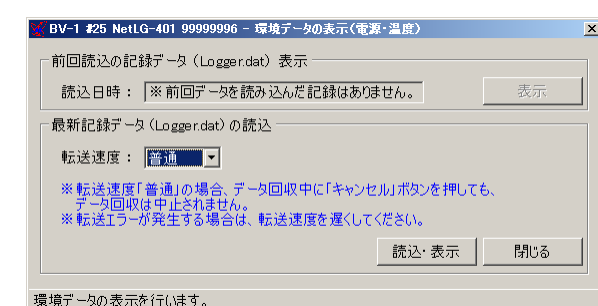


環境データの表示(電源・温度)

装置右クリックのポップアップメニュー
「環境データの表示(電源・温度)」

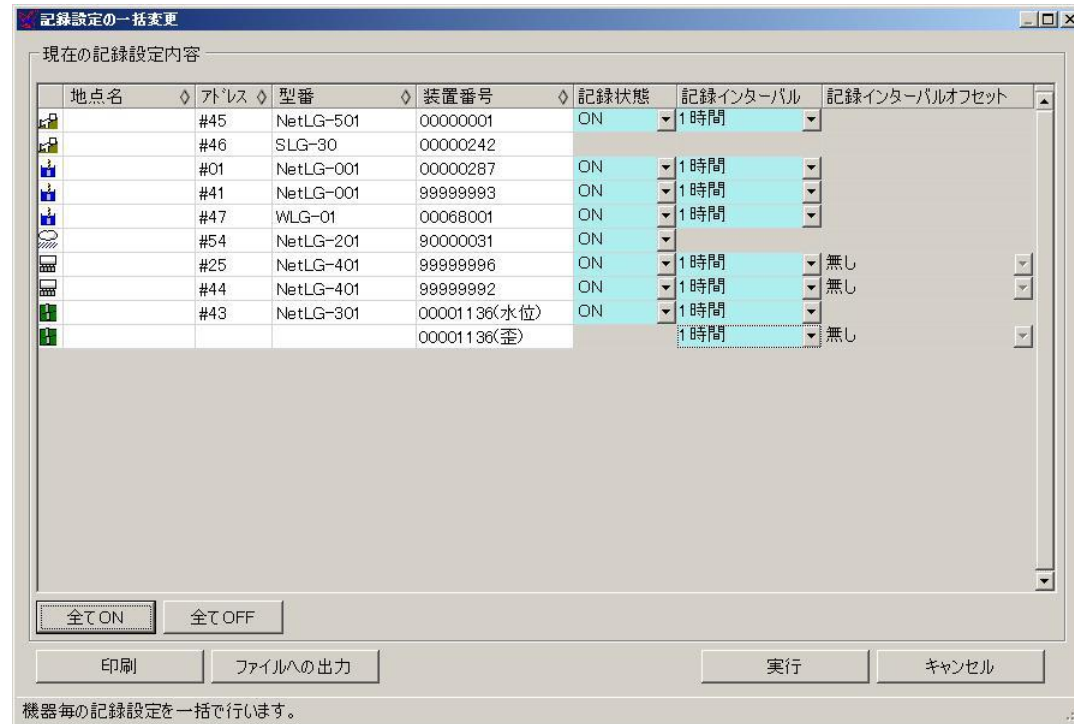
データ集録装置から環境データを取得し、電源電圧と内部温度のデータをPCカードビューア（環境データビューア）で表示します。

※PCカードビューアは弊社の製品です。
弊社HPより無償でダウンロードできます。



記録設定の一括変更

全データ集録装置の記録設定を一覧表示し、変更できます。

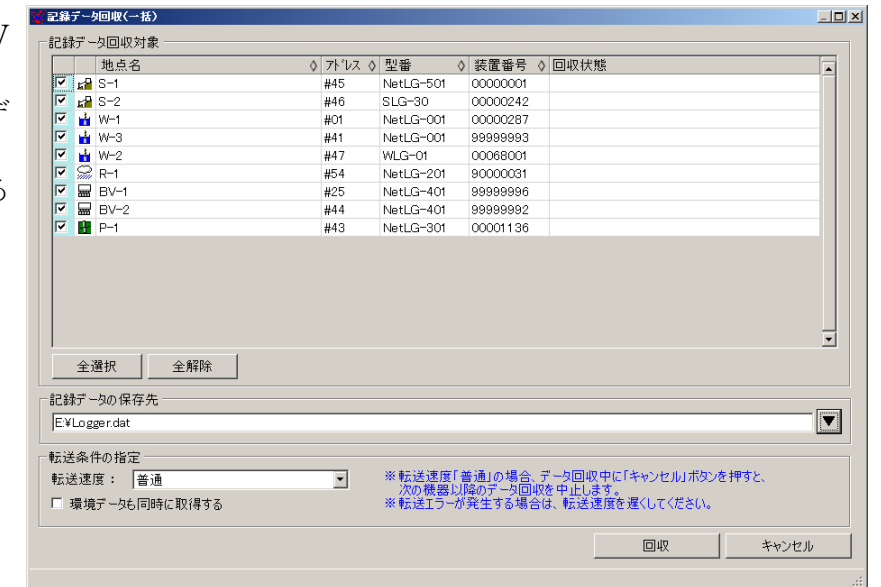


データ回収・CSV回収

集録装置で記録したデータ(Logger.dat または CSV ファイル)を回収します。

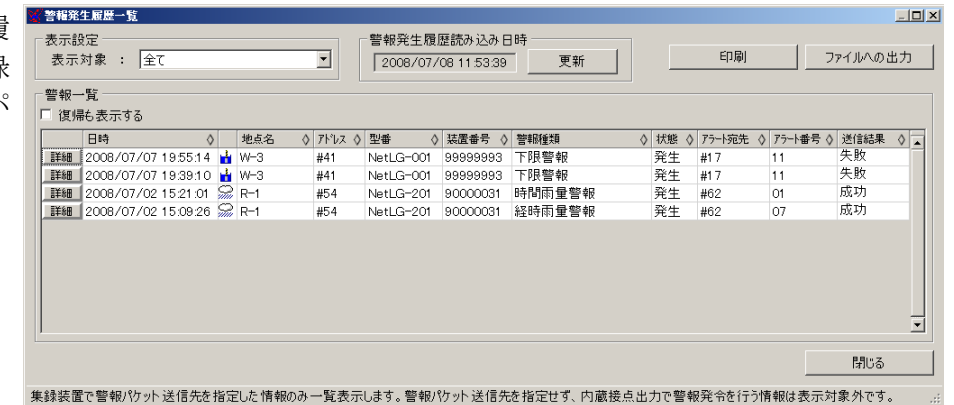
回収したデータは、PC カードビューアを使用してデータの確認・テキスト出力ができます (Logger.dat)。また、弊社製データ処理ソフト D-Station を使用すると作図・作表処理ができます。

※無線機経由の集録装置はデータ回収できません。



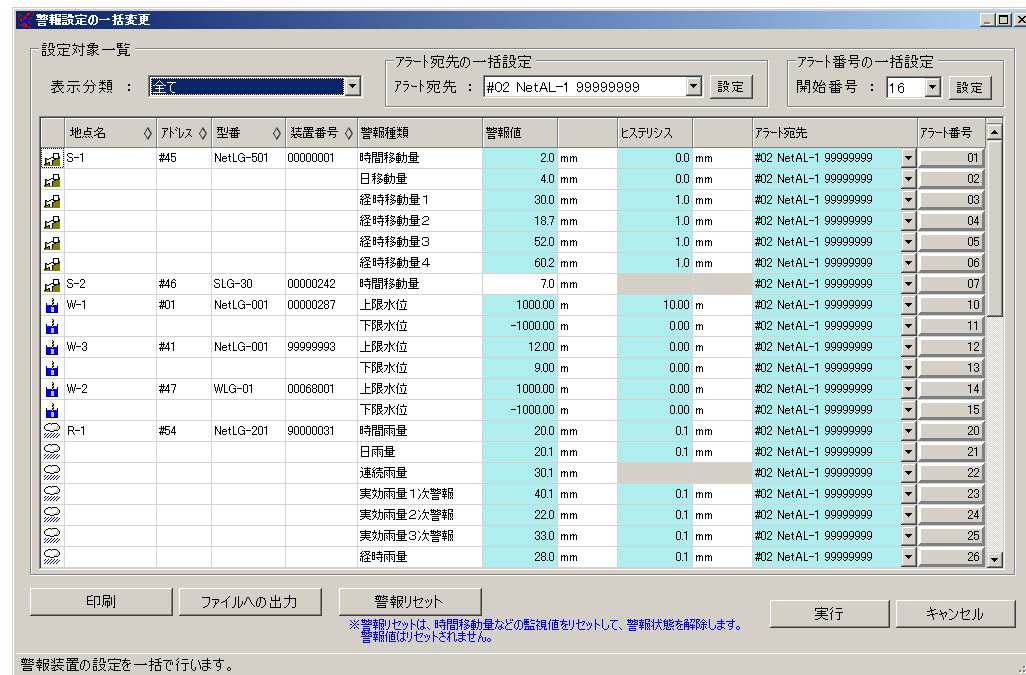
警報発生履歴の一覧表示

OSNET ネットワーク内全集録装置の警報発生履歴を一覧表示します。表示項目は「日時」「集録装置」「警報」「警報パケットの送信先」「警報パケットの状態」です。



警報設定の一括変更

全データ集録装置の警報設定項目を一覧表示し、警報設定項目を変更できます。



表示分類を指定し、設定対象を絞り込んで操作することも可能です。



運用開始前確認

運用開始前に確認が必要な、以下の操作をまとめた画面です。

- ・警報リセット (監視値のリセット)
- ・データ消去
- ・記録ON/OFF
- ・累積変動量の初期値時刻 (NetLG-301 のみ)

